



発行責任者
校長 初村 一郎

【校長室より】

『腐らず我慢』

高総体が終わりました。今年度は無観客ではありましたが何とか開催。選手たちは、感謝の気持ちと卒業していった先輩たちの思いを胸に、精一杯戦ってきてくれました。結果もさることながら、これまで一丸となって取り組んできた心意気を財産に、次のステージへ向けて新たな一歩を踏み出してほしいと願います。

これから、3年生は受験勉強、1・2年生は新チームが始動します。新しい生活への奮起を大いに期待して、先月号に続き、相撲の話題で気持ちを共有したいと思います。

相撲界は、この20年近く、外国人力士の台頭が目立ちます。特に、モンゴル出身の横綱が朝青龍、白鵬、日馬富士、鶴竜と四代続き、圧倒的な存在感を示しています。千代の富士や貴乃花に闘志をかき立てられ育ってきた私は、心の拠り所を失ったようで、自分を奮い立たせる瞬間がめっぽう減っているように思います。

そんな中、短い期間でしたが、今から4年前、19年ぶりに平成最後の日本人横綱「稀勢の里」が誕生しました。横綱昇進時のインタビューで「腐らず我慢してきて本当によかった。」…心に染みる一言でした。新十両、新入幕とも史上2位の若さで昇進。ところが、大関昇進後は31場所をかけ史上3位の遅さでやっとこさ昇進。我が事のように嬉しく感動をもらった瞬間でした。

中学校の卒業文集で、「天才は生まれつきです。もうなれません。努力です。努力で天才に勝ちます。」と綴り、「一番厳しい所で自分を磨きたい。」と各界随一の稽古を誇る鳴門部屋に入門。いずれは横綱との期待の声もありましたが、モンゴル勢の壁にはね返され、もがき苦しみ、それでも立ち上がり続けた姿は、天晴れとしか言いようがありません。

白鵬とは、いつもここぞという場面で対戦。63連勝していた白鵬に土を付けたのが稀勢の里。一方、優勝がかかった無敗同士の対戦に敗れてしまうことも。数々の名勝負を繰り広げてきた末、やはり、白鵬に勝って初優勝を飾り、横綱へ昇進。「見せてもらいました。努力で天才に勝つところを！」…中学校2・3年時の担任の先生が、当時を振り返りながら話しています。

稀勢の里の態度は誰が相手でも変わりません。初日から千秋楽まで小細工なしのぶれない姿勢。「自分の相撲を信じ、もっと稽古して強くなりたい。」…自分の相撲とは、注文相撲とは無縁の真っ向勝負。逆に、稀勢の里の一直線ないちずさが、相手をそういう脇道へと追い込んでしまうのか、白鵬でさえも稀勢の里戦では度々変化気味に立っています。来る日も来る日も激しい稽古に明け暮れ、土俵に染み込んだ汗と涙の分だけ強くなり、ようやく実を結んだ自分の相撲。

近年、相撲に関心のある若者は少ないと聞きますが、いつの時代にも通じる生き様を稀勢の里に学んでほしいと願い、筆を走らせてみました。先代師匠から事あるごとに言われ続けた「稽古は嘘をつかない。努力は嘘をつかない。」という言葉が胸に稽古に励んだ稀勢の里の姿に、生徒諸君には、これからの自分を照らしてもらいたいと思います。

お濠の清掃（校内清掃） 6/4（金）

6月4日（金）、例年は、恒例行事としてお濠の清掃を野球部が中心となって行ってくれています。今年に限ってはお濠の清掃を中止し、第一グラウンド、第二グラウンドの清掃を行う予定でした。しかし、生憎の雨となり、通常の清掃場所を念入りに行いました。

高総体に参加し懸命に戦う仲間が気持ちよく戻ってこられるように、生徒達は精力的に清掃に励みました。暑い中、一生懸命清掃に取り組む姿は五高生としての誇りです。今年は清掃を行わなかったお濠には、お濠のシンボルでもある蓮の花が咲き、登下校の生徒や、観光に訪れる人々の心を和やかにしてくれています。

新生徒会役員選挙 6/15（火）

6月15日（火）、新しい生徒会役員を決める生徒会役員選挙がおこなわれた。今年度は、全ての役職で定員と同数の立候補者となったため、信任投票となった。立会演説会では、候補者は各自の想いを熱心に語り、生徒たちも真剣な眼差しで聞いていた。放課後には1・2年生の選挙管理委員による開票作業がおこなわれ、今年度の生徒会役員が決定した。6月22日（火）におこなわれた生徒会役員任命式で新生徒会長の山田莉里花（やまだりりか）さんは「五島高校を、今よりもっと活気に溢れ、地域に貢献できる学校になるよう尽力したい」と決意を語った。生徒会の構成員は全校生徒である。その代表が生徒会役員である。新会長の山田さんが語った、生徒全員が活気に溢れ、地域に元気を与えられるよう、全校生徒と共に生徒会活動に取り組んで欲しい。

新生徒会役員			
会 長	山田 莉里花	副会長	吉原 初姫
			野口 海希
議 長	中村 聖永	副議長	野口 蓮



高総体・野球選手権大会壮行式 6/1（火）

6月1日（火）、長崎県高等学校総合体育大会と野球選手権大会の壮行式が行われた。今年度は新型コロナウイルス感染症対策のため第1グラウンドでの実施となったが、梅雨の中休みの好天に恵まれ、選手達にとってはまさに晴れ舞台となった。

旗手の男子バスケットボール部主将の横枕流輝君に続き、全運動部が堂々とした行進で入場し、その後女子バレーボール部主将の田中莉奈さんが声高らかに宣誓した。選手達は初村校長先生と生徒会副会長の山田莉里花さんからの激励をうけ、緊張しながらも、やる気に満ちあふれた表情を見せていた。昨年度は新型コロナウイルス感染拡大防止により、高総体が中止となったが、今年度はどの運動部も昨年度の3年生の思いを胸に全力で戦い抜いた。



令和3年度 高総体の主な結果

【ソフトテニス男子】団体戦
1回戦 ●五島0-3島原翔南

【ソフトテニス女子】団体戦
1回戦 ●五島0-3島原

【バレーボール男子】
1回戦 ○五島2-0対馬
2回戦 ●五島1-2長崎日大

【バレーボール女子】
1回戦 ○五島2-0国見
2回戦 ○五島2-0島原商業
3回戦 ●五島0-2創成館
ベスト16

【サッカー】
1回戦 ○五島14-0佐世保東翔
2回戦 ●五島 0-1 精道三川台

【卓球女子】団体戦
1回戦 ●五島2-3佐世保南
※男子は個人戦のみ出場

【剣道】
《男子》団体戦
予選リーグ
五島04-0佐世保南
五島04-1 諫早農業
決勝トーナメント
五島●1-3瓊浦
ベスト8

《女子》団体戦
五島●1-2島原
予選リーグ敗退

【バドミントン】
《男子》団体戦
1回戦 ●五島0-3佐世保北

《女子》団体戦
1回戦 ●五島1-3向陽

【バスケットボール男子】
1回戦 ○五島102-50川棚
2回戦 ●五島 56-148西海

【バスケットボール女子】
2回戦 ○五島121-17壱岐商
3回戦 ●五島54-103長崎西

【柔道】
《男子》団体戦
2回戦 ○五島4-0諫早農業
3回戦 ○五島4-0佐世保工業
準決勝 ●五島0-3長崎南山
第3位

《女子》団体戦
2回戦 ○五島2-1佐世保工業
準決勝 ○五島3-0瓊浦
決勝 ●五島0-3長崎明誠
第2位

《男子》個人戦（3位以上）
73kg級 尾崎 茂憲 第3位
90kg級 今畠 治豊 第2位

《女子》個人戦（3位以上）
63kg級 木場 彩 第3位
70kg級 奈良崎李沙 第3位
78kg超級 山下 希華 第3位



【陸上】
《男子》
400mH
清川 稜太 第2位
3000mSC
久保 愛斗 第5位
110mH
谷川 稀人 第6位
走幅跳
松本 颯志 第6位
やり投
木口善太郎 第8位

《女子》
ハンマー投げ
平木 愛華 第2位
400mH
大橋 茶和 第5位
砲丸投
浦 紗瑛 第5位
400mH
山田萌琉望 第6位
4×100mR 第7位
渡辺虹星、大橋茶和、
出井ちひろ、山田萌琉望
走幅跳
出井ちひろ 第7位
やり投
浦 紗瑛 第8位

*上記、陸上部 男女のうち6位以内の選手は、大分県で開催される北九州地区予選大会へ出場。

